



白と黒 神秘なる

陶磁器展

同時開催
絵画展

懐かしの景色を訪ねて

2024. 2.29(木) … 5.25(土)

入館料 …… 一般(高校生以上) 500円、中学生以下 無料
開館時間 … 10:00-18:00(最終入館 17:30)
休館日 …… 祝祭日を除く月・火休み、5/1(水) 臨時休館



三木美術館
Miki Museum of Art
Art Collection by 美樹工業

陶磁器展

神秘なる白と黒

絵画展

懐かしの景色を訪ねて

陶磁器の企画展として、白と黒という色に注目した展覧会を行います。彩色をしない、ごまかしの効かないやきものが白磁です。白磁からは凛とした澄んだ音色が聞こえてくるようなシャープさがあります。また、同じ白いやきものでも、志野や萩の白はぼったりと釉薬がかかり温かみのある風合いをしています。それとは対照的な黒のやきもの。桃山時代に主に茶道で黒い茶碗が珍重され、天目や楽など様々な黒いやきものが日本で発展してきました。板谷波山の香炉、楽長入や入などの楽焼、清水卯一のみ茶碗など、近代作家たちの手がける作品より、皆様をモノトーンの神秘的な世界に誘います。

絵画では、懐かしさを感じる景色が描かれた作品を集めた展覧会を開催します。小山敬三の『白鷺城』は、この姫路市のシンボルともいえる姫路城を正面にとらえた堂々とした作品です。川合玉堂の『渡頭春色』は、多摩川の長閑な、どこか懐かしい風景が広がります。他、平山郁夫や山下清なども展示。この展覧会をご覧いただいて、旅行や帰省で訪れた風景、昔見た風景などを思い出しノスタルジーに浸っていただければと思います。



清水卯一《蓬萊壺茶盤》



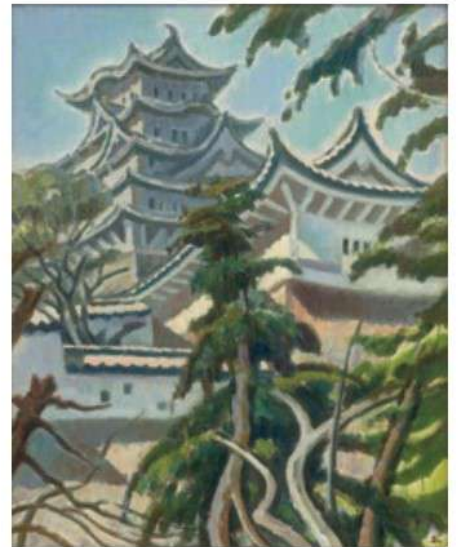
楽左入(六代)《黒茶碗 銘“千歳”》



板谷波山《蛋壳磁香爐》



加藤卓男《志野茶盤》



小山敬三《白鷺城》

春のイベント情報

gallery アートスペース miki

入場無料

3月7日(木)～3月24日(日)

『佐藤久一 個展』

— 平面は容積を待つ —
彫刻家：佐藤久一

ギャラリー | 3月16日(土)
トーク | 14:00～(30分程度)

4月4日(木)～4月21日(日)

『皆川憲子 日本画展』

— 記憶の中に II —

画家：皆川憲子

4月25日(木)～5月19日(日)

『森田美子 日本画展』

ノスタルジア
— 思想と幻想の間で —

画家：森田美子

*ギャラリーのみをご覧の場合駐車場はご利用いただけません。 *「gallery アートスペース miki」では展示される方を募集しております。 *最終日の入場は16:30までです。

イベント

セルフポートレイトを描こう2

— 水彩画を楽しむ —

『昨年好評だった“セルフポートレイトを描こう”の第2弾!』

講師：森田美子(日本画家)
日時：5月9日(木) 13時半～16時半
受講料：3,000円(税込) 定員：10名

開催中の講座

要予約

漆芸家 江藤雄造 金継ぎ教室	第1日曜	テーブル茶道教室	第3木曜
三原色で描くはじめての水彩画教室	第1木曜	ハワイアンキルト教室	第2水曜
エンブroidアリー コラージュ教室	第2水曜	メタルエンボッシングアート教室	第1土曜
プライベートピアノレッスン	要相談		

*詳細はHPをご覧ください。 *教室ご参加の方は展覧会もご覧いただけます。 *講師の方も随時募集しています。



〒670-0012 兵庫県姫路市本町241番地
TEL: 079-284-8413
http://www.miki-m.jp



入場料について

• 通常料金：一般(高校生以上)500円、中学生以下無料

いま通常料金入場の方に限り、
アートポストカードセットをプレゼント!
(なくなり次第終了)

• LINE お友だち登録で 300円

交通アクセス

- JR姫路駅・山電姫路駅下車 大手前通りを姫路城方向へ徒歩約8分
- 駐車場R2「大手前」信号手前を右折(美樹ビル内立体駐車場)

